

時間割コード	Q3400900	開講年度	2026				
授業題目	教育課程の編成法【第3欄】					担当教員	小山 茂喜
英文授業名	The theory of the curriculum						
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	L, S
講義室	東洋計器講義室 (20番講義室)		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	はじめに、学校における教育内容の内実をなす教育課程の意義や教育課程上の諸課題と学習指導要領の関係について理解を目指す。事例研究を通して、特色ある教育課程の編成の在り方について考察する。さらに、活力ある教育課程を編成するためのカリキュラムマネジメントの考え方や評価の観点・方法（評価規準）について学び、シラバスの作成の技能を身につける。						
(5)授業のキーワード	教育課程 カリキュラム 教育史						
(6)授業計画	第1回：教育課程についての基本的な考え方を探る。 第2回：日本における教育課程の考え方の変遷を概観する。 第3回：現代の教育課程編成上の課題と学習指導要領の改訂との関係を探究する。 第4回：事例研究にみる特色ある教育課程の編成を学ぶ。 第5回：カリキュラムマネジメントとは 第6回：評価の観点と評価方法について 第7回：中学校学習指導要領にみる教科ごとのカリキュラムを分析する。 第8回：小・中・高の内容の系統性について教科ごとのカリキュラムを分析する。授業アンケート						
(7)成績評価の方法	各回に課すレポート（70%）と、課題レポート（30%）によって、学習指導要領にかける各教科の特性と校種による系統性を理解しているかを総合的に評価する。						
(8)成績評価の基準	規準…概ね達成されていると判断されるレベル ①さまざまなさまざまな教育課程の特性を理解している。 ②教科内容の系統を理解している。 ③カリキュラム・マネジメントの意義を理解している。 基準 『かなり上にある』…①②③のすべての内容について理解をして、教育課程を編成することができる。 『やや上にある』…①②③のすべての内容について理解をして、教科内容を系統的に概観することができる。						
(9)事前事後学習の内容	昭和22年度版から次期学習指導要領まで内容を分析し、教科の特性と内容の系統についてレポートにまとめる。 ※この授業は、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	教員免許状取得希望者は、必修科目である。 一部、e-Learning学習となる場合がある。						
(11)質問,相談への対応	授業終了後等適宜応じる。 メールでも可。 shigeki@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	すべての回に出席することを前提としています。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	オンデマンド教材を配信するので視聴し、レポートにまとめる。						
【教科書】	文部科学省「中学校学習指導要領」、文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編」、文部科学省「中学校学習指導要領解説」の自分が免許取得する教科編(国語・社会・数学・理科・外国語のいずれか)						
【参考書】	安彦忠彦編,「新版カリキュラム研究入門」ISBN978-4326298150, 勁草書房, 1999年, 2600円 田村知子「カリキュラム・マネジメント・ハンドブック」ISBN978-4324100837, ぎょうせい, 2016年, 2530円						